

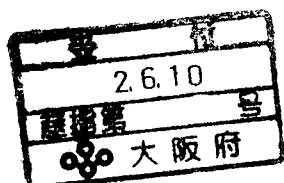
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 2年 6月8日

大阪府知事 殿



提出者
 住 所 大阪府泉佐野市中町3丁目1番1号
 氏 名 多田環境株式会社
 代表取締役 脇田 英樹
 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号 072-458-8088

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	多田環境株式会社
事業場の所在地	大阪府泉佐野市中町3丁目1番1号
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	前年度元請工事高 ￥338,873,000
③従業員数	18人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生→木くず・がれき・混合等に分類→処理業者へ委託→ 破砕→再生資源化する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役 (廃棄物処理責任者)

↓

現場代理人 (廃棄物担当)

↓

工事担当責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (31 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	排 出 量	285 t	1146 t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の適正処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	排 出 量	200 t	1100 t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の適正処理 及び減量化計画やリサイクルの考慮		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトとコンクリート塊の分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上現状維持し、さらに徹底

建設系混合	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		
42 t	49 t	t	t

建設系混合	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		
50 t	50 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 31 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	285 t	1146 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	285 t	1146 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。また、再生利用可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託している。		

t	t	t	t

t	t	t	t

建設系混合	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		
42 t	49 t	t	t
t	t	t	t
42 t	49 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	200 t	1100 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	200 t	1100 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
現状維持し、さらに徹底			
※事務処理欄			

建設系混合	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		
50 t	50 t	t	t
t	t	t	t
50 t	50 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t